

平成25年度 第十七回
**外国人留学生
 奨学金受賞者紹介**



熊本大学大学院医学教育部
 博士課程一年(中国)
林 博文

この度は、肥後医育振興会医学国際交流助成金をいただきまして、誠に有り難うございました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は熊本大学大学院生命科学研究所生体機能薬理学分野博士課程一年の林博文です。光山教授の指導下で、糖尿病モデルマウスを用いて新しい糖尿病薬 Empagliflozin の効果を研究しています。Empagliflozin はナトリウムとグルコースのコトランスポーター² (SGLT-2) 阻害剤として近年注目されています。この薬剤は、腎臓のグルコースとナトリウム再吸収を阻害してグルコースを尿から排泄させるため、膵臓の機能と関係なく血糖をコントロールできます。また、降圧効果を認めるという報告もあります。しかし、糖尿病合併症に対して効果を示すという報告はなく、その点に注目し現在研究を行っています。

最後に選んでいただいた審査員の先生方と、推薦して頂いた光山教授に感謝の意を表したいと思います。



熊本大学大学院医学教育部
 博士課程四年(インドネシア)
レザノ アンドリ

I would like to take this opportunity to thank you for your generosity in funding me through the Higo Scholarship for Graduate Student in Kumamoto University. I am very honored to be the recipient of this award.

I am currently a doctoral student majoring basic medical sciences. I have completed 16 credit hours by taking classes and published paper in peer-review journal for the doctoral degree requirement.

While attending doctoral course I have been involved in several projects related to cancer biology. I have learnt how to sensitize breast cancer cells to DNA-damaging agents thereby understanding the mechanism by which breast cancer develop in human.

Receiving this scholarship motivates me to maintain research work and complete my degree. I look forward to being able to give back to the community once I begin my career teaching in my country. I thank you for your confidence and willingness to help me achieve my goals.



熊本大学大学院医学教育部
 博士課程四年(中国)
周 波

この度、肥後医育振興会から外国人留学生奨学金を授与していただきました分子生理学分野の周 波です。奨学金を授与していただきまして、大変嬉しく思います。会員の先生方には、心より御礼申し上げます。

私は、中国の南昌大学より私費留学生として四年前に来日しました。それ以降、大学院医学教育部博士課程に入学し、分子生理学分野の富澤教授の指導の下、研究を行っています。研究題目は、「ヒト RNA 修飾酵素 Cdk5RAP1 の生理機能」であります。これまでの研究により、細菌、酵母でしか知られていなかった RNA 修飾がヒトにも存在し、翻訳調節に重要であることを明らかにすることができました。また、Cdk5rap1 欠損マウスが不整脈や心筋症を発症することを見出しました。RNA 修飾異常がこれら疾患の原因になるという新しい疾患概念を提唱していきたいと思えます。

現在、四年生で論文作成や追加実験で夜遅くまで頑張っています。そのため、アルバイトもできませんので、奨学金をいただきまして本当に助かります。研究に集中できることを嬉しく思います。

大学院修了まで残りわずかとなりましたが、本奨学生として恥ずかしくないよう最後まで頑張りたいと思います。末筆ながら、肥後医育振興会会員の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



熊本保健科学大学大学院
 保健科学研究科
 修士課程一年(韓国)
朴 珍河

この度は、肥後医育振興会医学国際交流助成金を賜りまして、誠にありがとうございます。ご関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

二〇一三年三月に熊本に来て、熊本保健科学大学大学院に入学しました。私費留学生として、大変な部分がありました。研究に集中することができております。

私は現在、熊本大学医学部附属病院病理部で基底膜 IV 型コラーゲン α 鎖の動態について研究しています。癌細胞の浸潤過程において基底膜の破壊は必要不可欠です。IV 型コラーゲンは基底膜の主要な構成要素であり、 $\alpha 1(IV)$ 、 $\alpha 6(IV)$ の六種類の α 鎖からなる三種類の基底膜が組織特異的に存在します。原発性肺腺癌の新旧国際分類 (IASLC, ATS, ERS) に沿った前浸潤性病変、微小浸潤性腺癌、浸潤性腺癌に大きく分けて、真の浸潤部の同定に基底膜 IV 型コラーゲン $\alpha 1(IV)$ 、 $2/2(IV)$ と $\alpha 3(IV)$ 、 $\alpha 4(IV)$ 、 $\alpha 5(IV)$ の二種類の基底膜の動態を、新旧国際分類による範囲を正しく評価可能か免疫組織学的に検討していきます。

今回の奨学金で有意義な人生を楽しむことを心の中心に持ちながら勉強も研究も精一杯頑張りたいとおもいます。